

「中学生にも分かるウクライナ問題」

兼 広丘公民館原新田分館「大人の学び直し」企画

ロシアのウクライナ侵攻を受けて、問題を理解するための基本的な知識を学ぶ機会として、広丘公民館原新田分館との共催で開催し、中学校の社会科教諭で当センターの主任指導主事が講師を務めました。ロシアとウクライナの歴史的関係や軍事侵攻の経緯、日本への影響などを解説し、「ロシアとウクライナの問題を自分事として捉えていきましょう」と呼び掛けました。

受講者からは「最大の関心事であり、大変良かったです」「新聞やテレビでは読み取れないことを得られた」など、世界平和のために自分ができることを考え、学び続けることの大切さに気付くことができました。

受講者：30名

<研修内容>

【講義議疑応答】

演題 「中学生にも分かるウクライナ問題」

講師 長野県生涯学習推進センター 主任指導主事 栗林 幸治

内容 ・はじめに～中学校学習指導要領から～

・ウクライナを理解しよう

・なぜロシアはウクライナを攻撃したのか

・日本への影響は

・私たちができること



<受講者アンケートから>

- ロシア プーチン大統領の本心（本当の目的）をもう少し詳しく知りたかったです。（公民館職員）
- わかりやすい話だった。（公民館職員）
- これらのテーマはやはり難しいですね。タイムスケジュールも計画されても良かったかなと思います。50分では限界があります。（一般）
- もう少し深く知りたかった。（一般）
- 日時、時系列にまとめて、詳細な状況に感謝です。（公民館職員）
- 今日、最大の関心事であり、大変良かったと思います。（諸団体）
- 新聞等やテレビでは、読み取れない事を得る事が出来る。（ボランティア）
- 帰宅してから、頂いた30ページの資料を見直しました所、とても分かりやすい資料を作っていただき、一言お礼をお伝えしたいと思いメール致しました。講師の熱意も感じました。ありがとうございました。（一般）